

幸せの黄色いチラシ

皆様の快適生活のお役に立つ情報をお届けします。(2022年2月22日発行) 第193号



こんにちは店長小林です。二十四節季の「雨水」も過ぎ、予報では「記録的な大雪も今週を境に落ち着く」とのことですが本当に春が待ち遠しいですね！

さて来月3月3日は「ひな祭り」です。そして日本では1961年に、WHO（世界保健機関）では2007年に3月3日を「耳の日」として「難聴と言語障害をもつ人たちの悩みを少しでも解決することを目的とした日」に制定しました。そこで今月はちょっと早めに最新の補聴器情報をご案内すると共に、メーカー担当者も参考にする「当店の補聴器調整方法」をご紹介します。



おかげさまで創業60周！それを記念して今月はご来店のお客様全員に「雛あられ」&ミニチョコプレゼント！（3月19日まで）

「出張訪問・送迎」のご案内 予約受付中

- ・毎週土曜の午後を「訪問・送迎日」とし、ご自宅まで伺います。
- ・補聴器はご自宅での聴力測定と音量や音質調整も可能です。
- ・メガネの掛け心地調整もお任せください！（当店ご購入品は無料）
- ・困ったときは☎026-255-2452までお気軽にお電話ください。

「当店のコロナウイルス対策」 マスクやフェイスガードを着用しての接客はもちろんのこと

- ・椅子やドアノブなど共用部分を除菌しています。
- ・消毒用のアルコールを複数箇所に設置しています。
- ・室内のウイルス除去と換気扇による常時換気の実施。



ちょっとコーヒープレイク

「オリンピックと人間ドック」



東京五輪に続き北京オリンピックでも日本人選手が大活躍。メダル数は4年前の平昌五輪の13個を上回り既に17個（2月17日現在）。しかしその陰で悔し涙を流す選手もおり悲喜こもごもと言ったところでしょうか。

一流のスポーツ選手の場合、最高のコンディションで大会を迎えられるよう体重や食事を常にチェックし豊富な練習量を裏付けに精神面も鍛えて本番に臨むわけですが、それでも勝利の女神が微笑まない場合があります。海外の選手も含め、そんなケースを何度も見た今回の冬季五輪でした。

ところでオリンピックと人間ドックの関係ですが、実は店長小林は毎年2月に受診するため正月明けからの2ヶ月間はコンディション調整の時期（メタボ対策…）しかしカミさん曰く「普通の生活をしていて受診する事が大切なのに…」ところが今年は記録的な豪雪だったため、雪下ろしや除雪作業をセッセとしたおかげで体重・腹囲共に減り検査値も全般に改善。雪害転じて福と為す。(´▽`)



来月「3月3日」は「耳の日」です！

そこで！ちょっと早めに最新の補聴器情報をご案内いたします。

世界初！2つの頭脳が言葉と環境音を別々に処理する「AX補聴器」



♪シグニアAX（エーエックス）は世界初のダブルプロセッサー（2つの頭脳）が言葉と周囲の環境音（車の音や雑踏、風雑音など）をそれぞれ最適に対処します。
♪そのため今まで聞き取りの邪魔をしていた環境音が必要最小限に抑えられ、言葉がより鮮明に聞こえます。

耳掛け／耳穴共に2月22日より全国販売開始！

♪AX耳掛け補聴器は全て充電式で電池交換のストレスがありません。（充電器も携帯用と据え置き型の2種類）
♪自分の声を抑え、音漏れも素早くキャッチし、マスクモード搭載でマスク越しの会話聞きやすい！

今なら専用耳栓と殺菌乾燥機のWプレゼント！

♪「耳掛け型AX」お求めの方にオーダーメイド耳栓と、充電しながら除菌乾燥ができる乾燥機をプレゼント！



充電タイプの耳穴補聴器がついに登場！

♪取り扱いが簡単で、マスクの邪魔にならない人気の耳穴補聴器に充電タイプタイプのインシオAXがいよいよ登場！（色は黒とベージュ）もちろんこちらの機種にも「殺菌乾燥機」をもらってプレゼント。



メガネ・補聴器・時計・時計修理と電池バンド交換・宝飾品・指輪のサイズ直しとリフォーム



障害者総合支援法指定店 日本補聴器販売店協会正会員
「SS級認定眼鏡士」テクノエイド協会「認定補聴器技能者」の店

営業時間：8時～19時
定休日：土曜の午後 毎週 日曜日
☎ 026-255-2452

メガネ・補聴器共に少々お時間を頂戴し、丁寧な調整を心がけております。初めてのご来店の際にはお待たせしないためにも、事前の電話予約お勧めいたします。



各種カード
パスポート
ご利用いただけます。

B面には「当店の補聴器調整法」とコラム「オプト散歩」を掲載！ぜひご覧ください。 →

【はみ出しコラム】10年ぶり20年ぶりとも言われる今年の豪雪ですが、昨年とは異なり「降るべき場所に降った」そんな感じがします。そしてこんな冬でも支障なく日常生活が送れるのは、その道のプロがいるからこそ！除雪関係の皆様にお心から感謝です。



オプトコバヤシの店長が、地道に足で稼いだ地域情報やニュースをお届けします。

オプト散歩

除雪用品（道具）の歴史考察

十年ぶりとも二十年ぶりとも言われている今年の豪雪ですが、オプト家でも正月二日から屋根に上り、雪下ろしすること5回。店頭や駐車場の除雪はほぼ毎日で小型除雪機（妙高市では「ピーター」の呼称が一般的）の燃料も60リットルを優に消費しました。



当然除雪用品（道具）の消耗も激しくスノープレッシャー（他の商品名でも存在）などは先端が割れこんな状態。パーツ交換しようと購入先に問い合わせるも「季節商品のため現在取り扱っていない」とのつれない返事。

しかし除雪作業はまだまだ続くため「売ってないなら直して使おう！」と

言うことで、縦横方向共に強度のあるテープで破断面の表裏を補強し、さらに雪の付着予防のため厚手のアルミテープを張り修理完了！（何かカッコいい！こんな商品もどこかにあったような？）早速使用してみると堅めの雪も難なく削れバッチグー（笑）



ところで年配のお客様と雪の話をしていて、よく話題に上るのが除雪用品の進化。「昔はスコップだけしかなかったけれど、その後にスノーダンプが登場してずいぶん楽になった」「そして小型除雪機・ピーターが普及すると同時に、いろいろな形状の雪かき道具が出てきて、たまにホームセンターに行くと結構楽しい」



確かに除雪用品にはいろいろな種類があり、以前おじゃましたお宅の玄関先には雪を少しずつ投入して溶かす「小型融雪機」があり驚いた記憶があります。そこで除雪用品の歴史を調べようとインターネットで「除雪 歴史」で検索したところネット上の百科事典「ウィキペディア」には以下のことが記述されていました。

「江戸時代以前における除雪技術に関する文献はほとんど見当たらない。第二次世界大戦前後までは、屋根では除雪用の木鍬（クシキ、コシキ）、屋根と地面に板を渡して屋根の上から安全に雪を降ろせる雪樋（ユキドヨ）、雪運搬用に用いられた雪串（ユキグシ）や背負い籠（コエカゴ）が用いられた。」と。

つまり除雪用品の進歩は戦後から始まったもので、それまでは雪下ろし用としての鍬や樋や籠しかなく「道に降った雪は踏み固め、その上を歩いていた」ということです。それが車社会となり、道路の安全確保と駐車場等の必要性から除雪作業が必須となり用具や機器が発達したというわけです。「必要は発明の母」という有名な言葉がありますが、これからはいろいろな除雪用品が出てくるんでしょうね！



＜当店の補聴器調整方法について＞

ご存じでしたか？毎月一風変わったチラシ（笑）を作っている店長の小林ですが、実は補聴器販売では国内唯一の公的資格である（財）テクノエイド協会の「認定補聴器技能者」なんですよ！だから、お客様お一人お一人の聴力と使用目的や生活環境を考慮した補聴器の音作りと調整を日々心がけています。そこで今回は補聴器装用成功率抜群の当店の調整方法の流れをご紹介します。



いろんな音が急に聞こえてうるさいよ～

聴力が低下すると人の脳は「音や言葉を聞き漏らしてはいけない！」と興奮し、耳から入った音を頭の中で増幅するように働きます。そして、その状態で補聴器を装用すると左図のように適切な音量でも脳がさらに音を増幅し、うるさく感じてしまいます。

実はこれが補聴器を購入しても使わない方の症状であり、補聴器調整の難しさなんです。そこで当店では、脳の興奮を押さえながら音量や音質調整する「積み上げ式調整法」を採用しています。



この調整法は最初に目標の70%程度の音量からスタートし、脳を慣らしながら（個人差はありますが約3ヶ月）徐々に音量を上げる方式で「少ないストレスで補聴器の音になじめる」こと「音量を上げる段階で同時に音質も調整できる」ことが特徴です。そして、お客様にお願いすることは「初日から可能な限りの連続装用」と「目標の音量（100%）になるまでの定期的な調整」にご協力をいただくことだけです。



最初の1～2週間は大変かもしれませんが、その後は上図のようにうるさかった音も気にならなくなり補聴器の効果を実感いただけると思います。（調整期間はお客様のペースに合わせてますのでご安心を！）

「補聴器は（お客様と補聴器技能者の）二人三脚でお使いいただく商品」です。

音の調整はもちろんのこと、長く使うためには定期的なメンテナンスも必要な医療機器です。補聴器のお求めは「近くて安心・確かな技術・2年間の完全保証」のオプトコバヤシで！